

## ぶらっと山歩（さんぽ）

～雪の堂満岳東陵へ～

文と写真：吉野会長

新年2日は私自身が1年で一番好きな日である。18 キップのお世話になり、日帰り可能な近畿圏の何処かへ「ぶらっと山歩」に出かける。唯一人、指定券の要らない電車に乗って、自由でのんびりとした時間を楽しみながら、積雪した登山可能な山へ向かう。年始早々誰も入っていない登山道の足跡の無い雪の中を、ゆっくり、のんびりと歩くことほど贅沢で幸せなことは無い。



元旦/山の恵みで作ったしめ飾り（無手勝流です！）

今年も数年続いている比良山系へ、ぶらっと出かけてみた。

4 時起床。テルモスに熱々の湯を溢れさせ、昨夜（元旦）詰めてもらっている「煮しめ」とおにぎり2個、少量？のウイスキー及び缶ビール2缶をそそくさとザックに入れ飛び出す。早朝の為バスは動いていないので自宅から三宮駅までは歩き。普段の早朝なら、三宮駅や周辺にある立食うどん店は営業しているが、流石に正月は開いていない。従って飛び乗った電車内でおにぎりとお煮しめ少量をほおばる。これが又、小旅行？の楽しみだ。



イメージです！

三宮発 7:20 の新快速敦賀行に乗れば乗換なしで湖西線の近江塩津までの主要な駅に停まるので、北寄りの山々へ入れるが、近年は新年の初歩きということもあり、近場で、それも正面谷を行けるところまで詰め、早めに引き返して「天然温泉・ひらとぴあ」でゆったりと湯に浸かる・・・というパターンが多い。したがって、6 時台の快速で京都まで行き、湖西線の普通電車に乗り換える。ガラガラの電車内で又、煮しめを少々ほおばる。



比良駅から北に鎮座する樹下神社（じゅげじんじゃ）

8:09 比良駅着。どんよりした天気、駅から眺めた堂満岳もガスの中。駅前の田んぼもほとんど雪無し。国道 161 号を渡っていつもお参りする樹下神社も、建物から落ちた雪を集めた雪のみで、これでは正面谷へ入っても、面白くない！よし、今年は堂満岳東陵方面へ入ろう！と急遽コースを変更することにした。バイパスを超えた途端、積雪は嘘のように有り、足首まで潜るのである。



登山道へ入った途端、足首まで潜る雪、雪・・・雪！

ノタノホリ・堂満岳方面の標識前で止まり、入山者がいるか？足跡があるか？・・・眺めたが、無い。それでは入ってみよう！・・・と進む。



左・堂満岳方面 直進・金糞峠方面の道標前で

少し進み、橋を渡ると古くなった山小屋風別荘の残る場所へ出るのだが、橋の手前に大木が倒れ、いきなりアスレチックを余儀なくされた。昨年春、シャクナゲ鑑賞登山の時には倒れてなかったのに・・・と思いながら通過し、別荘の前に出た。



大きな倒木で道を塞がれていたが・・・

奥から2軒目の汚い（失礼！）小屋の前で、やかんが載せられたカンテキを目にした。正月なのでのんびりしたい御仁が来られているのであろう。そのすぐ上のロッジ風の建物の下でアイゼンを装着。第一の目的地「ノタノホリ」を目指して雪の登山道をゆっくりと踏みしめながら登っていく。僅か7ヶ月余り前の春山と比べ、こんなにもたくさんの倒木が何時？と思うほど随分と倒れていた。

ノタノホリへは10時前に到着。少しゆっくり歩きすぎた？・・・このころから少し雪が降りだしてきた。



凍っていた「ノタノホリ」



新緑の季節のノタノホリ

イメージ写真

植林地を抜け、雪に埋もれた沢筋を登っていくも、なかなか歩きづらい雪である。・・・何とかつずら折れの登山道を登り切り尾根までと頑張ってみたが、頭の中は「ひらとびあの湯ぶね」でいっぱい！！11時45分、決めていた下山時間に到達したのでUターンし、下山にかかった。



尾根をめざして登る途中、振り返ると足跡が鮮明に・・・

今年の比良の初歩きは、天気・雪質共に今一で、湯上りのビールと帰路車中でのウイスキー&煮しめの美味しさだけが記憶に残ったのみであった。

